

---

令和2年度  
全国学力・学習状況調査の質問紙を活用した  
県調査の結果の概要

---

児童生徒質問紙……………	2 ページ
学校質問紙……………	14 ページ

令和2年10月  
滋賀県教育委員会事務局幼小中教育課

## 1 趣旨

これまでの教育指導の成果・課題や、長期化した休業期間の影響等を検証するため、全国学力・学習状況調査の「生活習慣や学習環境等に関する質問紙（児童生徒質問紙・学校質問紙）」を活用し、児童生徒の生活や学習状況および学校の状況を把握する。また、調査結果を分析し、各学校の課題に適切に対応したり、教育施策の検証・改善を図ったりすることで、各学校における児童生徒への教育指導の充実に役立てる。

## 2 趣旨に基づいた県調査について

### (1) 児童生徒質問紙を活用した調査

#### ① 調査時期

令和2年7月下旬～9月上旬（各市町・学校の状況に応じて実施時期を設定）

#### ② 調査対象

県内の公立小学校第6学年、公立中学校第3学年

※ 各校1クラス分以上の回答データの提供を依頼

提供データ数 小学校：10,381人（約76%） 中学校：8,717人（約69%）

#### ③ 調査内容

学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査

※ 質問項目は、県で以下の基準で28項目に限定し、実施

##### 【限定の基準】

- ・長期化した休業期間の影響等による児童生徒の生活や学習状況の把握に関連した質問項目
- ・「第Ⅱ期 学ぶ力向上滋養プラン」の3つの視点（視点1：学びを実感できる授業づくり、視点2：学ぶ意欲を引き出す学習集団づくり、視点3：子どものために一丸となって取り組む学校づくり）に関連した質問項目
- ・人権教育やキャリア教育、ICT活用に関連した質問項目

### (2) 学校質問紙を活用した調査

#### ① 調査時期

令和2年7月下旬

#### ② 調査対象

県内の公立の小学校・中学校・義務教育学校（学校長が回答）

提供データ数 小学校：196校（約89%） 中学校：82校（約84%）

#### ③ 調査内容

指導方法に関する取組や人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する調査

※ (1)～(5)の質問項目については省略

※ 時期が示されていない質問については、原則として、調査実施日現在の状況で回答

# 児童生徒質問紙の結果概要

調査を実施、提供いただいた学校の回答データを集計した結果（児童数：10,381人、生徒数：8,717人）のうち、**①第Ⅱ期学ぶ力向上滋賀プランに関する質問項目** **②児童生徒の基本的な生活習慣および学習習慣に関する質問項目** **③ICT活用に関する質問項目**について、以下に示した。

（調査結果については、その他・無回答の数値を入れていないところがあり、100%にならない場合がある。）

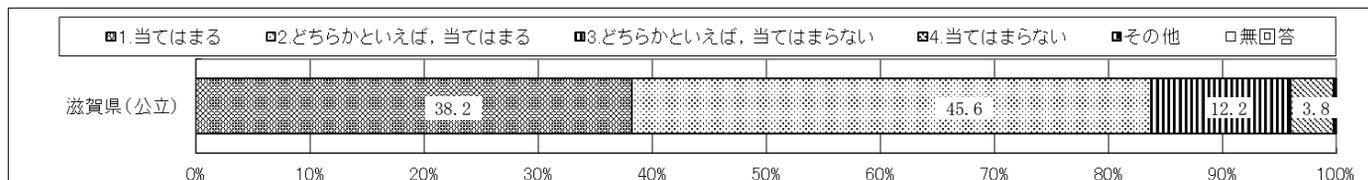
## ① 第Ⅱ期学ぶ力向上滋賀プランに関する質問項目

※令和2年度および平成31年度の集計結果を掲載

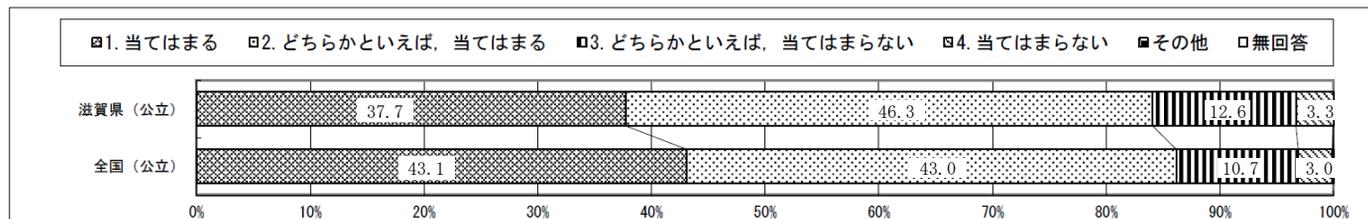
(12) 先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思う

### 【小学校】

(令和2年度)

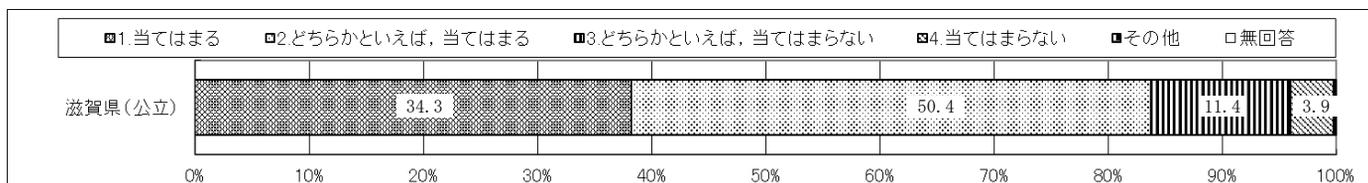


(平成31年度)

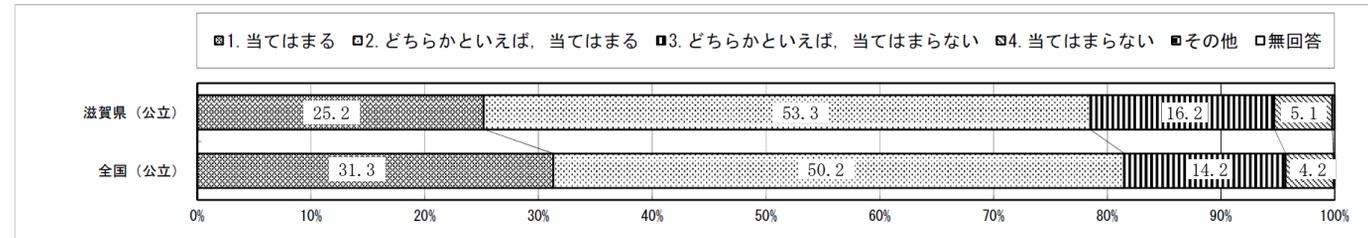


### 【中学校】

(令和2年度)



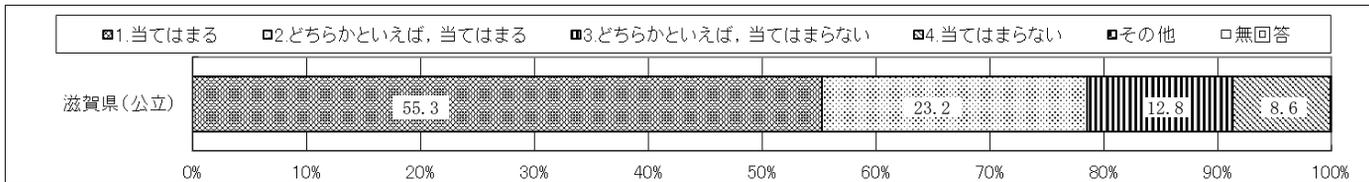
(平成31年度)



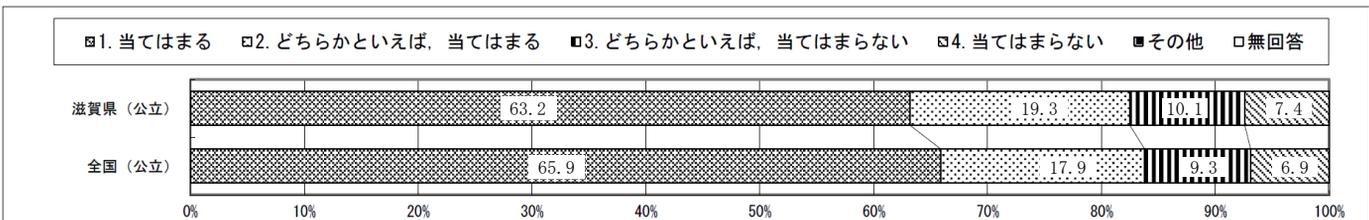
(13) 将来の夢や目標を持っている

【小学校】

(令和2年度)

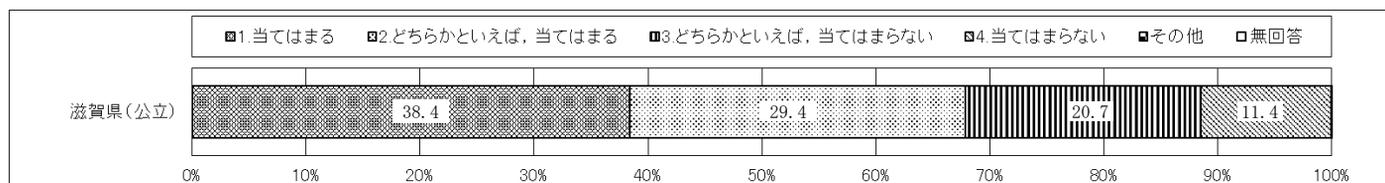


(平成31年度)

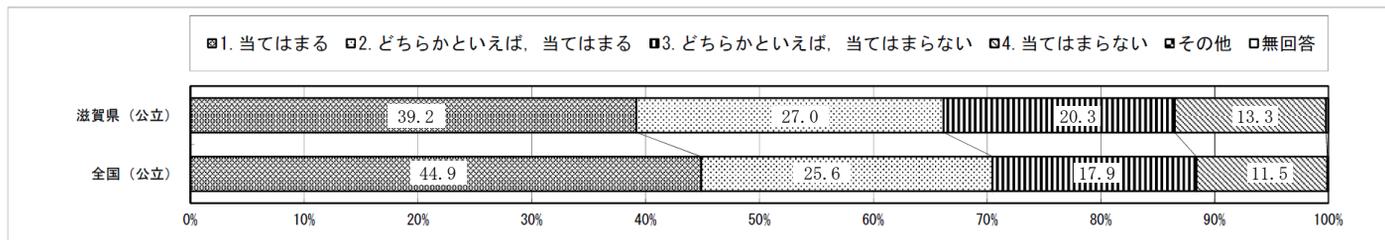


【中学校】

(令和2年度)



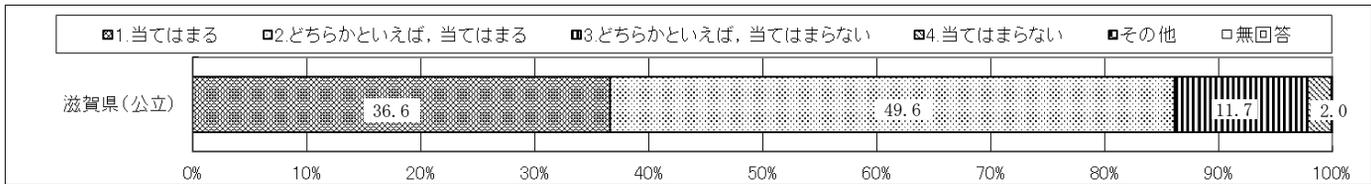
(平成31年度)



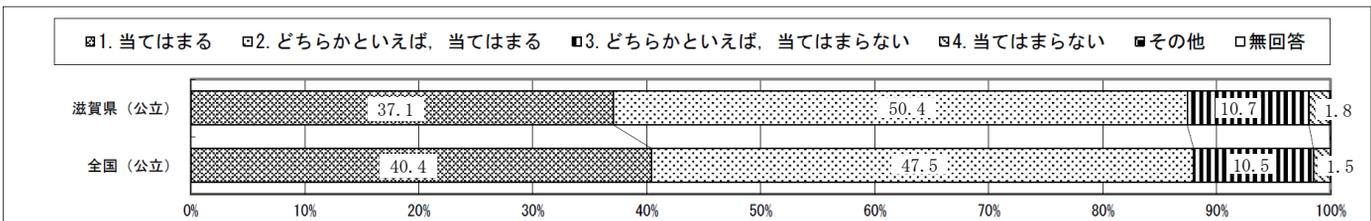
(17) 人が困っているときは、進んで助けている

【小学校】

(令和2年度)

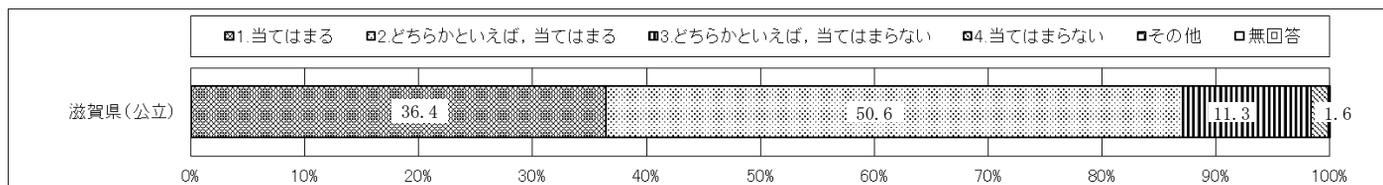


(平成31年度)

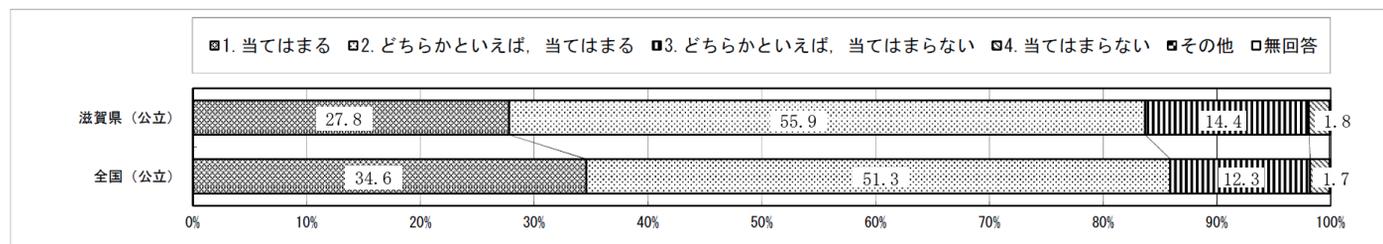


【中学校】

(令和2年度)



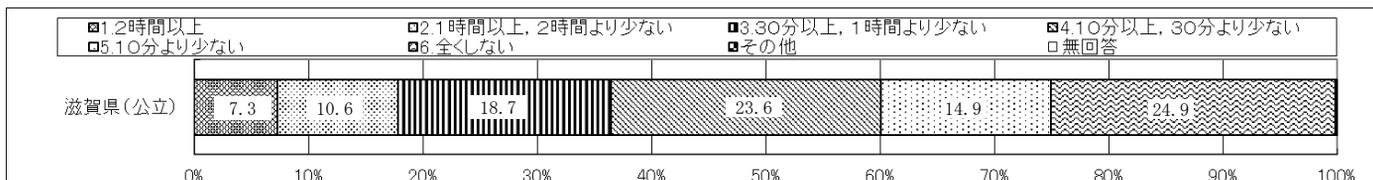
(平成31年度)



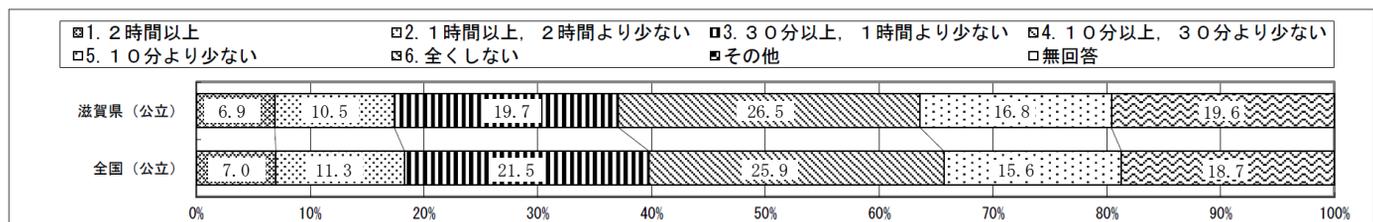
(24) 学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、読書を読みますか。(教科書や参考書、漫画や雑誌は除きます。)

### 【小学校】

(令和2年度)

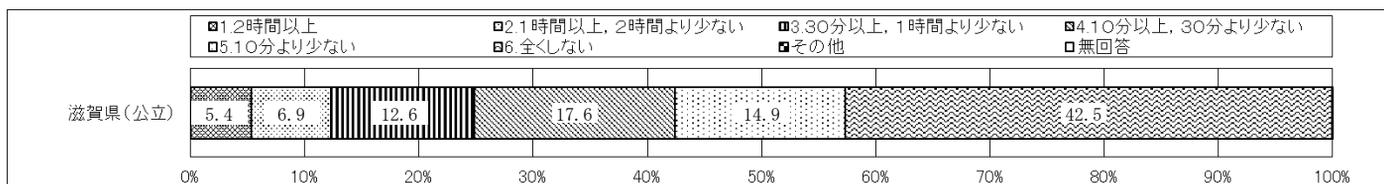


(平成31年度)

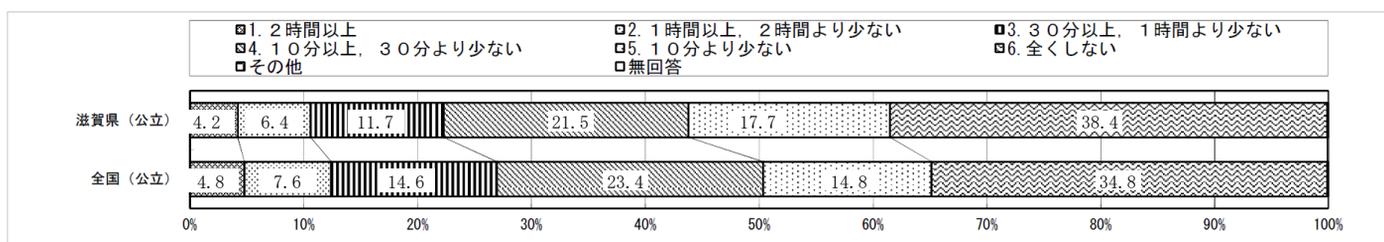


### 【中学校】

(令和2年度)



(平成31年度)



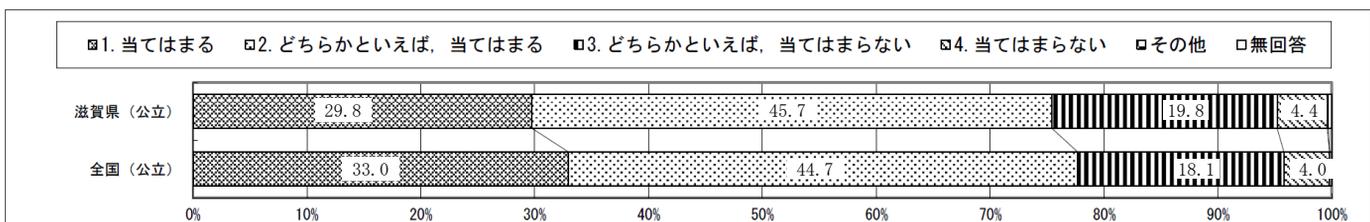
(31) 5年生まで〔1, 2年生のとき〕に受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいたと思う

## 【小学校】

(令和2年度)

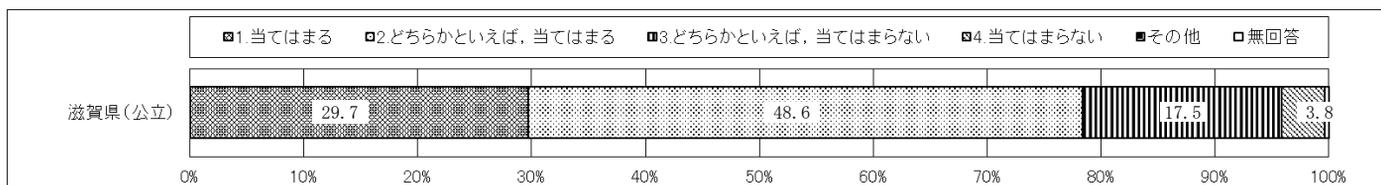


(平成31年度)

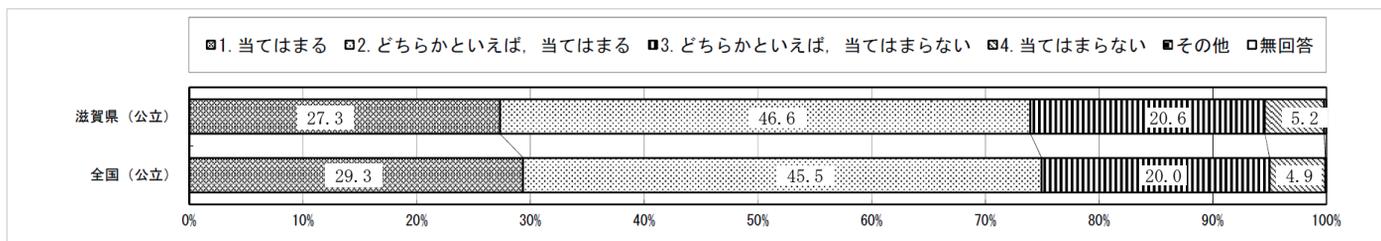


## 【中学校】

(令和2年度)



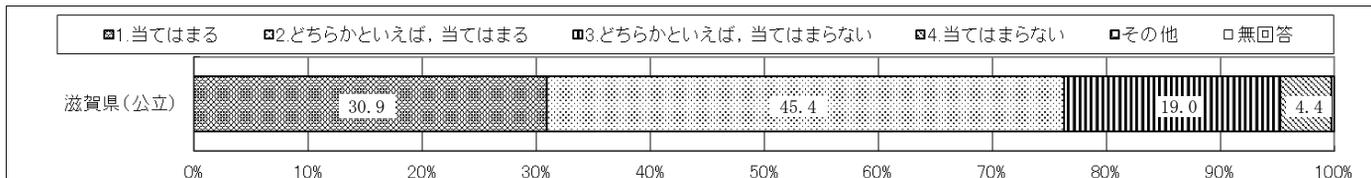
(平成31年度)



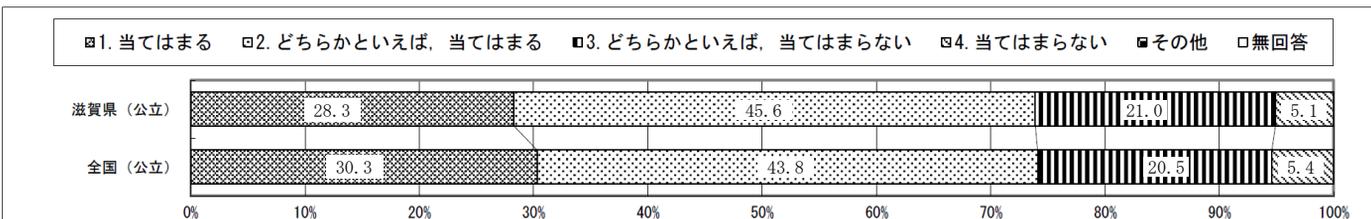
(37) 学級の友達と〔生徒〕の間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思う

### 【小学校】

(令和2年度)

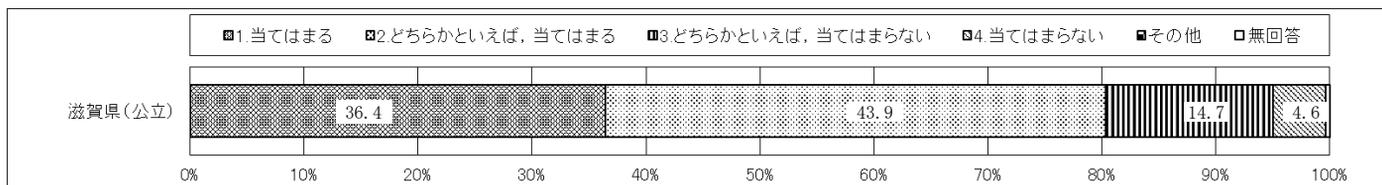


(平成31年度)

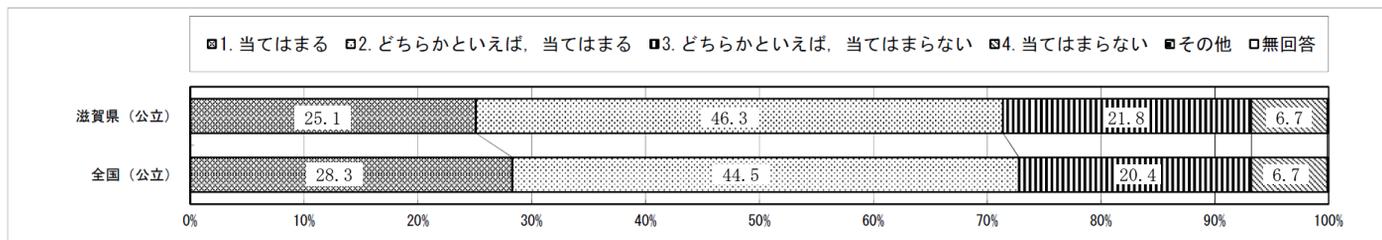


### 【中学校】

(令和2年度)



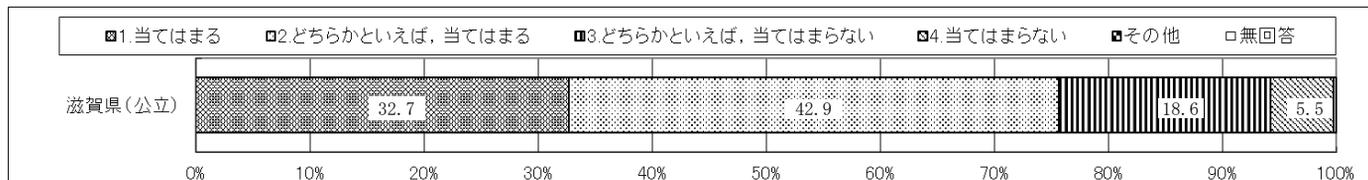
(平成31年度)



(53) 先生は、国語の授業で、自分のできているところや改善できそうなところがどこか教えてくれる

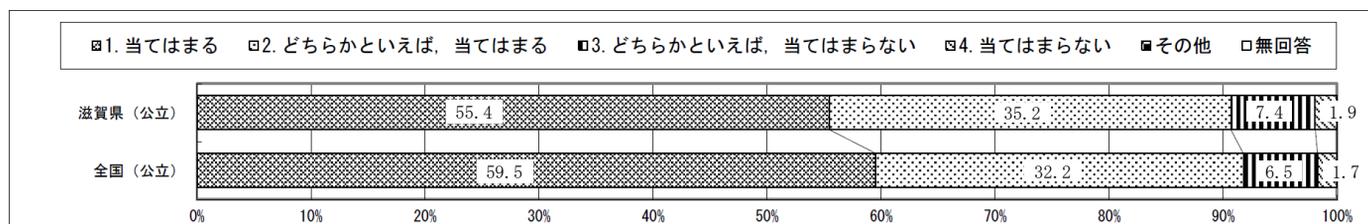
## 【小学校】

(令和2年度)



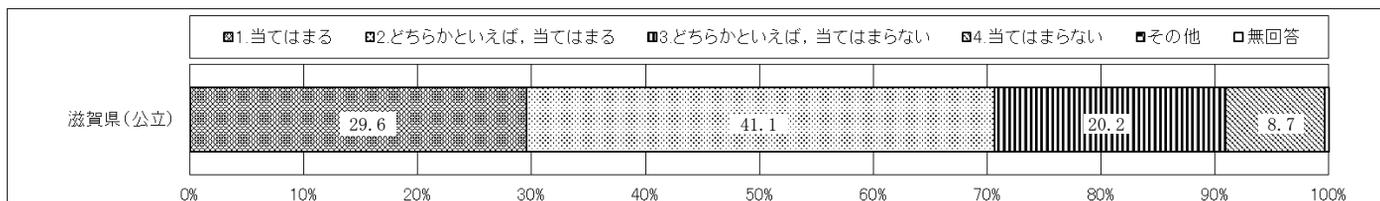
(平成31年度)

【参考】(7) 先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれていると思う



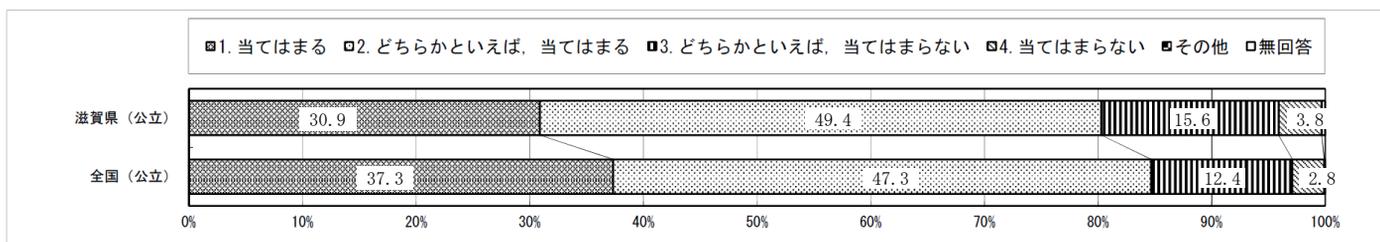
## 【中学校】

(令和2年度)



(平成31年度)

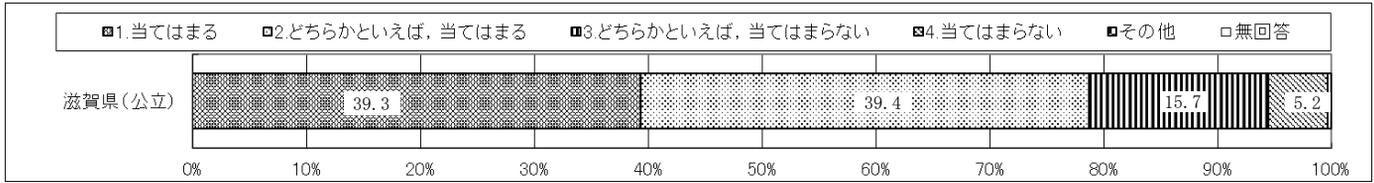
【参考】(7) 先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれていると思う



(65) 先生は、算数〔数学〕の授業で、自分のできているところや改善できそうなところがどこか教えてくれる

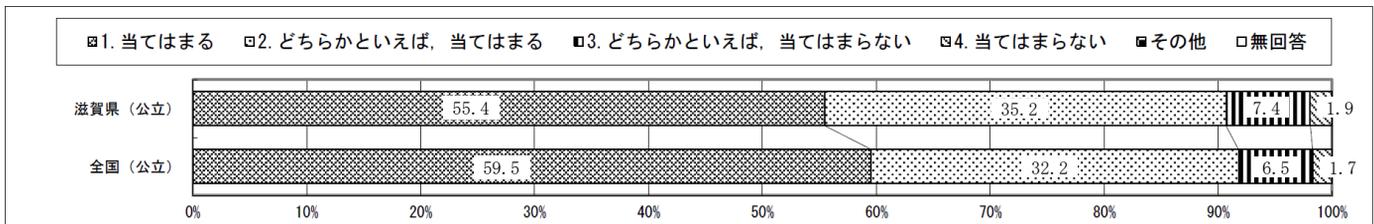
【小学校】

(令和2年度)



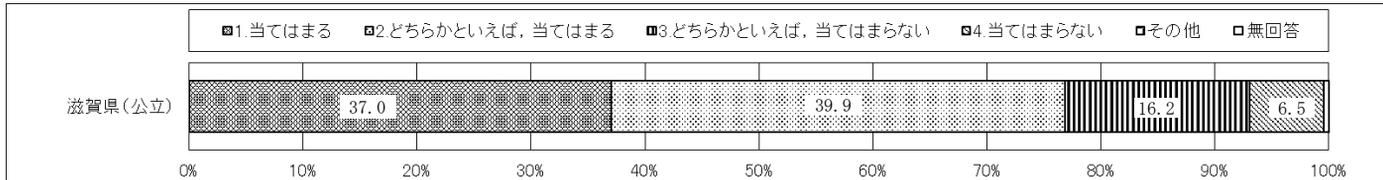
(平成31年度)

【参考】(7) 先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれていると思う



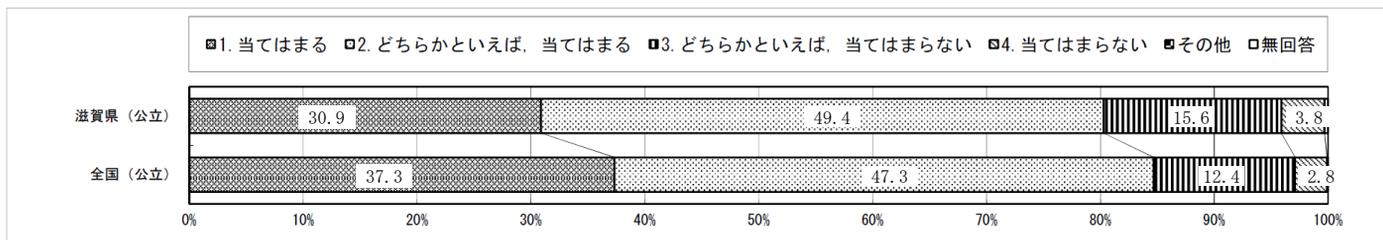
【中学校】

(令和2年度)



(平成31年度)

【参考】(7) 先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれていると思う



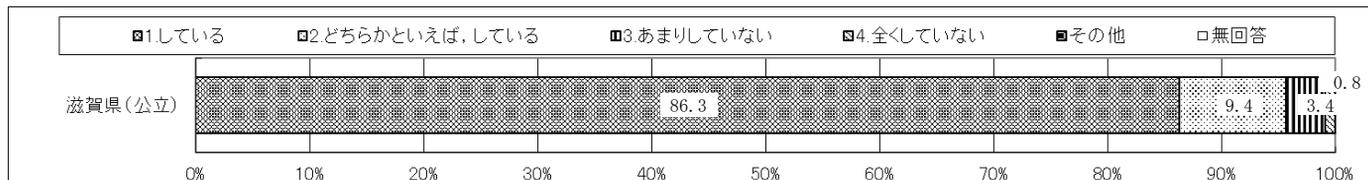
## ② 児童生徒の基本的な生活習慣および学習習慣に関する質問項目

※令和2年度および平成31年度の集計結果を掲載

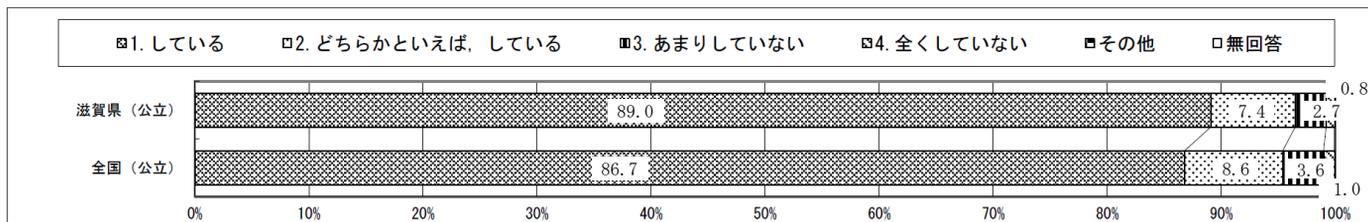
### (1) 朝食を毎日食べている

#### 【小学校】

(令和2年度)

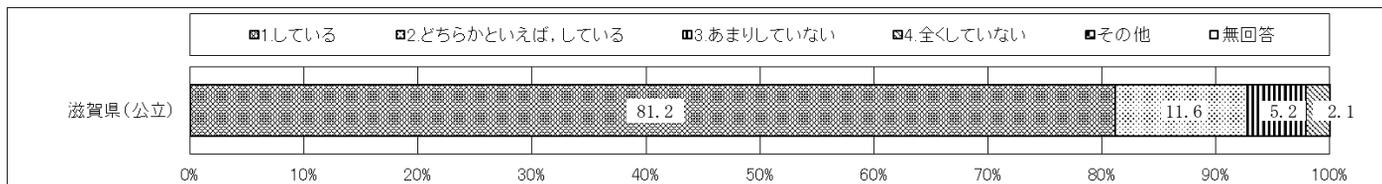


(平成31年度)

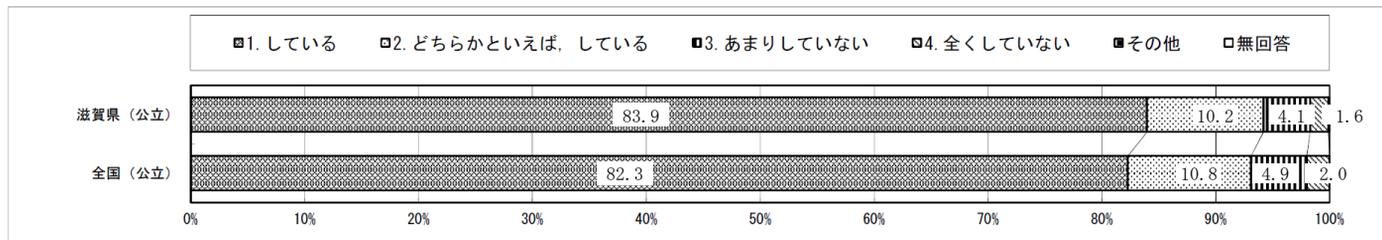


#### 【中学校】

(令和2年度)



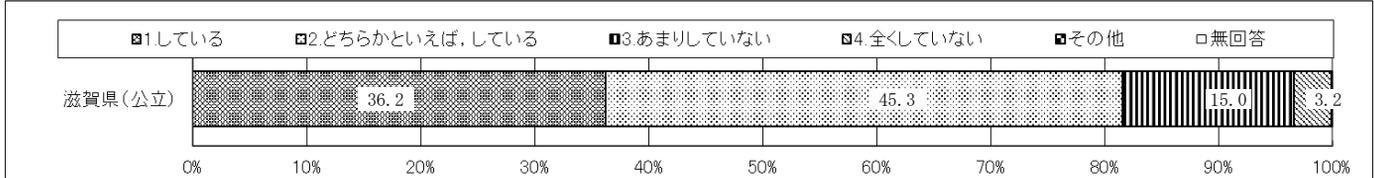
(平成31年度)



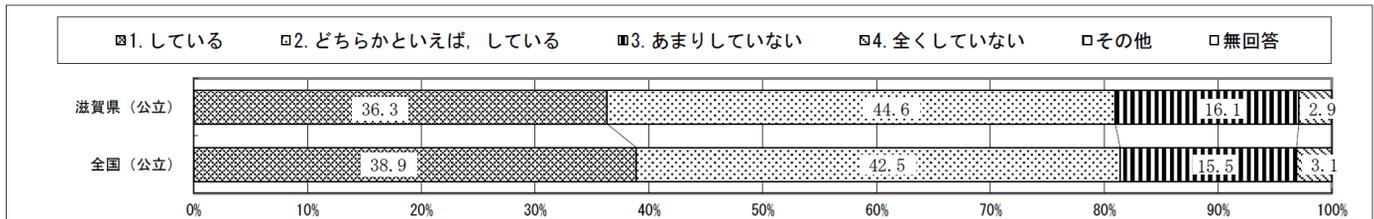
(2) 毎日、同じくらいの時刻に寝ている

【小学校】

(令和2年度)

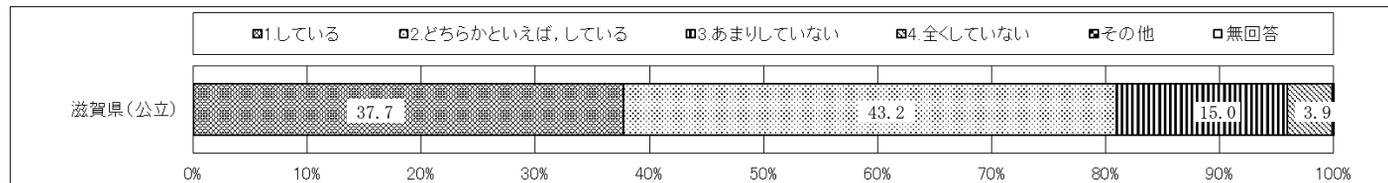


(平成31年度)

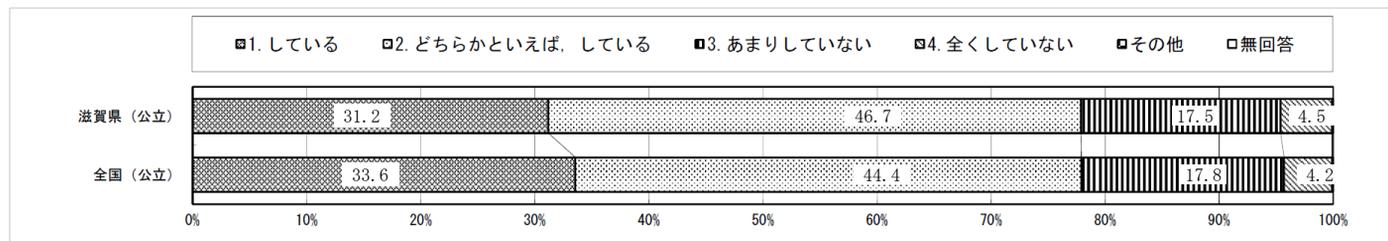


【中学校】

(令和2年度)



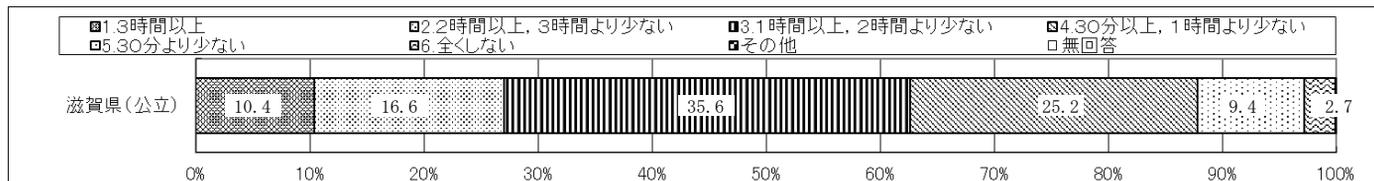
(平成31年度)



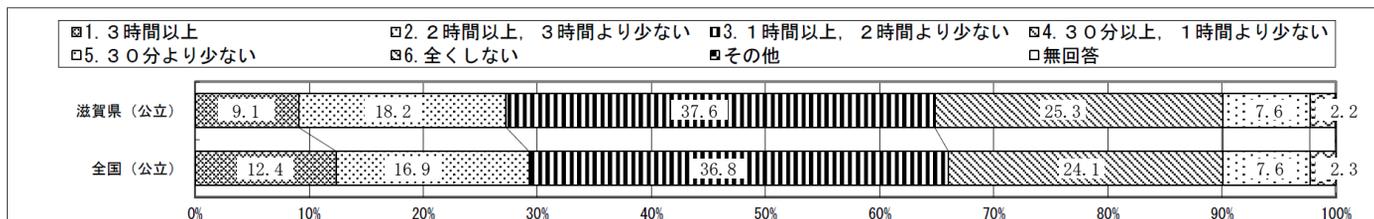
(21) 学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか。(学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間も含まれます。)

### 【小学校】

(令和2年度)

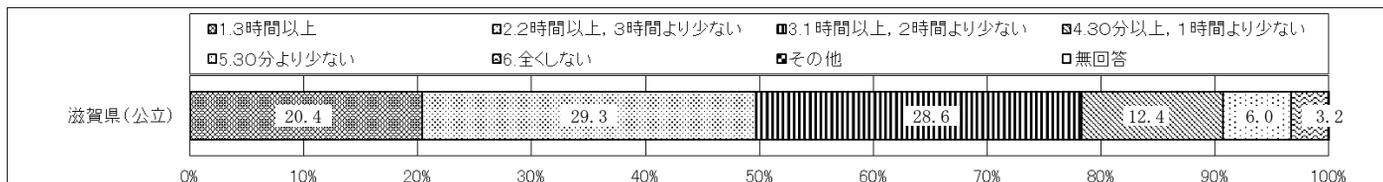


(平成31年度)

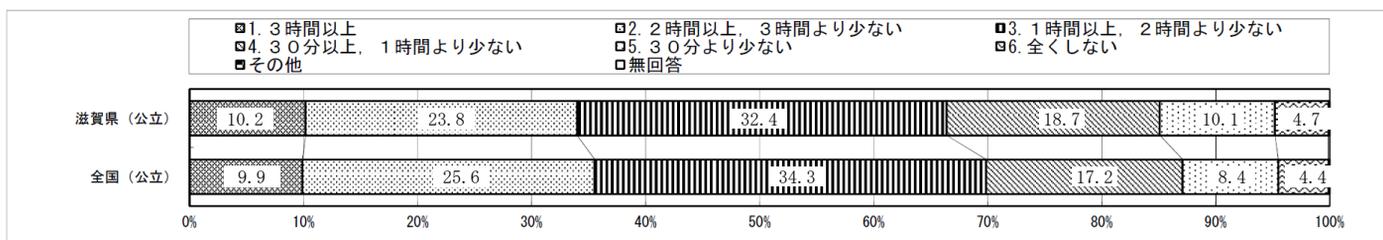


### 【中学校】

(令和2年度)



(平成31年度)



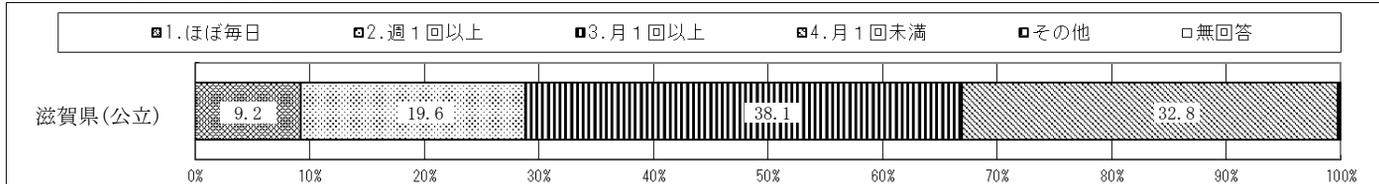
### ③ ICT活用に関する質問項目（児童生徒）

※令和2年度および平成31年度の集計結果を掲載

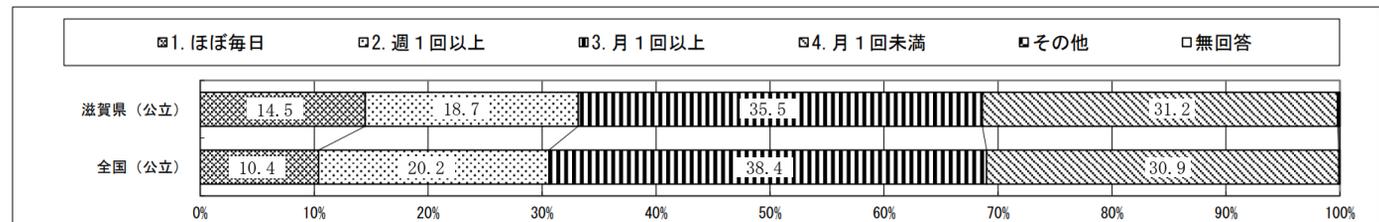
(28) 5年生まで〔1, 2年生のとき〕に受けた授業で、コンピュータなどのICT機器をどの程度使用しましたか。

#### 【小学校】

(令和2年度)

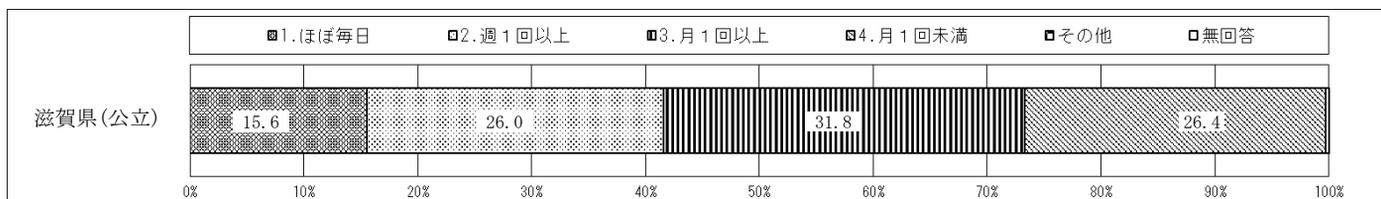


(平成31年度)

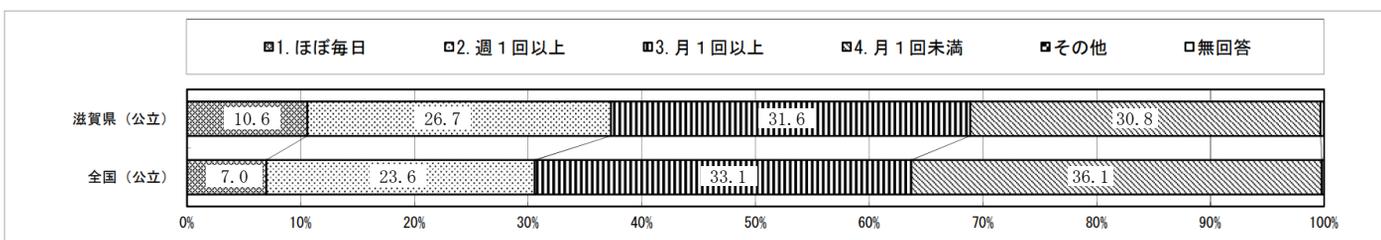


#### 【中学校】

(令和2年度)



(平成31年度)



# 学校質問紙の結果概要

調査を実施、提供いただいた学校の回答データを集計した結果（小学校：196校、中学校：82校）のうち、**①第Ⅱ期学ぶ力向上滋賀プランに関する質問項目** **②主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に関する質問項目** **③ICT活用に関する質問項目**について、以下に示した。

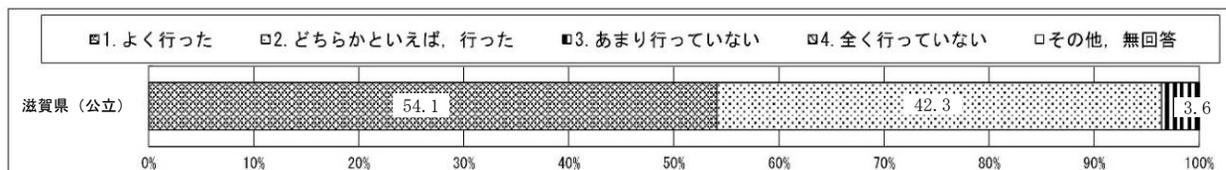
（調査結果については、その他・無回答の数値を入れていないところがあり、100%にならない場合がある。）

## ① 第Ⅱ期学ぶ力向上滋賀プランに関する質問項目 ※令和2年度および平成31年度の集計結果を掲載

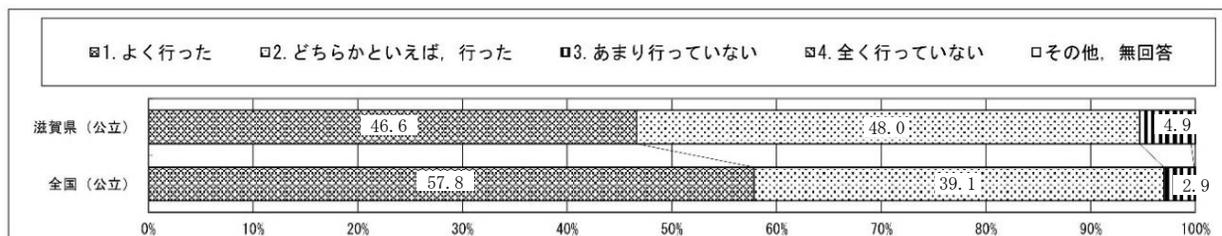
(10) 調査対象学年の児童〔生徒〕に対して、前年度までに、学習規律（私語をしない、話をしている人の方を向いて聞く、聞き手に向かって話をする、授業開始のチャイムを守るなど）の維持を徹底した

### 【小学校】

（令和2年度）

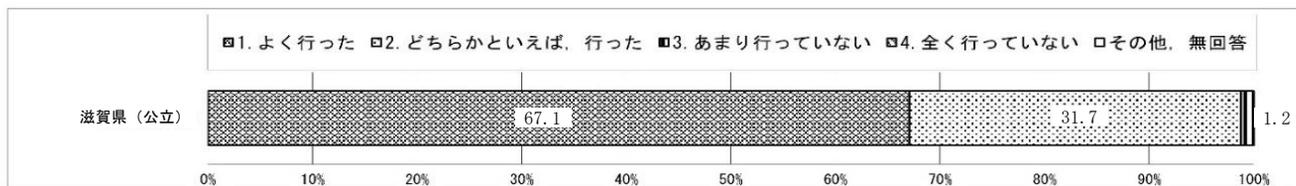


（平成31年度）

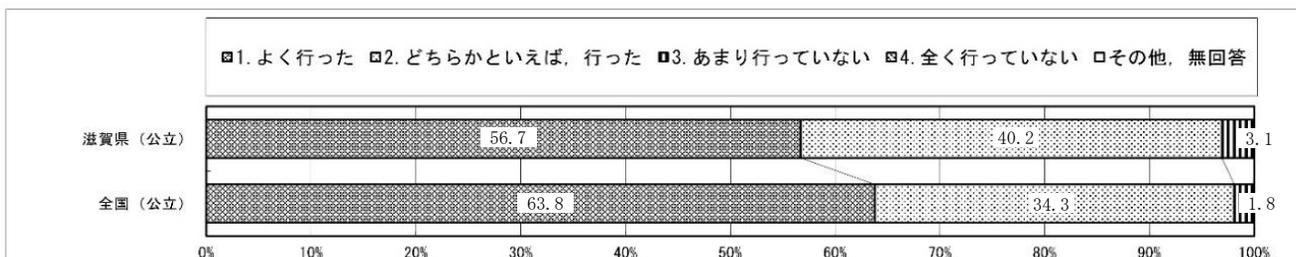


### 【中学校】

（令和2年度）



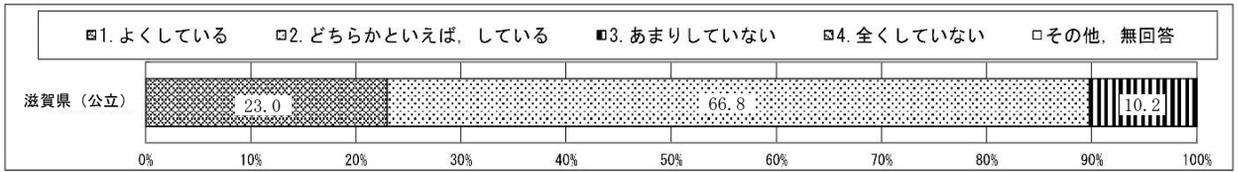
（平成31年度）



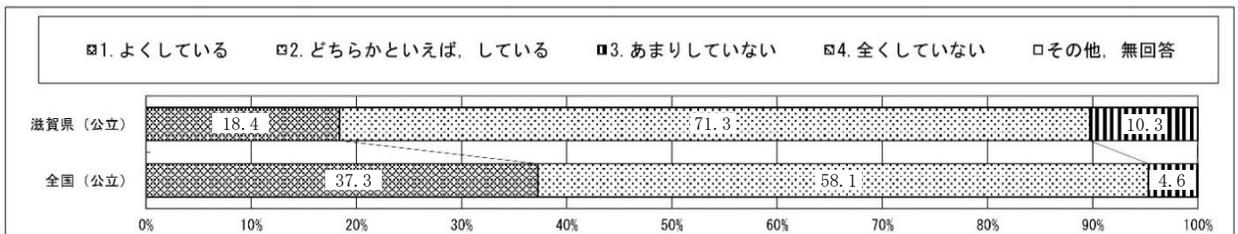
(14) 児童〔生徒〕の姿や地域の現状等に関する調査や各種データ等に基づき、教育課程を編成し、実施し、評価して改善を図る一連のPDCAサイクルを確立している

【小学校】

(令和2年度)

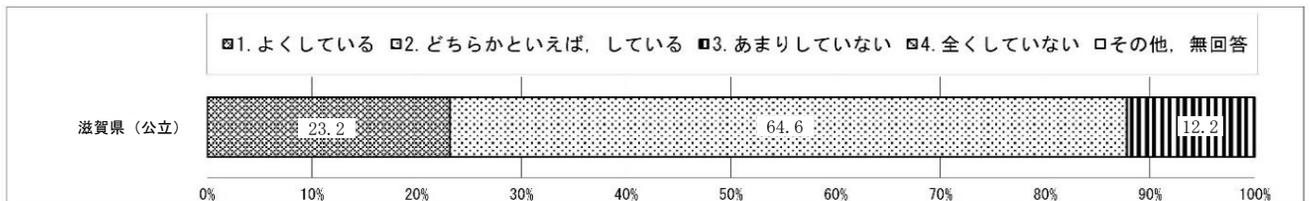


(平成31年度)

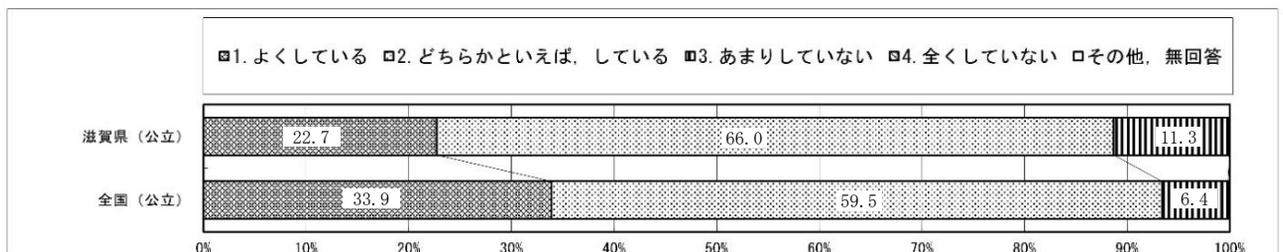


【中学校】

(令和2年度)



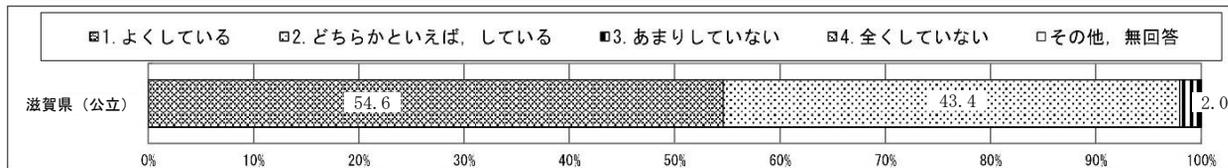
(平成31年度)



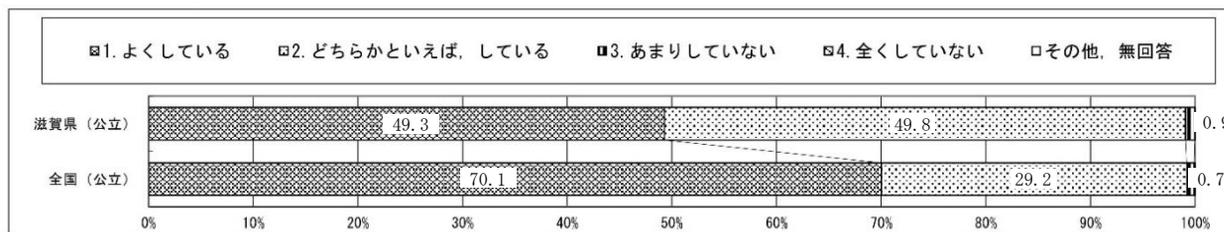
(18) 校長のリーダーシップのもと、研修リーダー等を校内に設け、校内研修の実施計画を整備するなど、組織的、継続的な研修を行っている

【小学校】

(令和2年度)

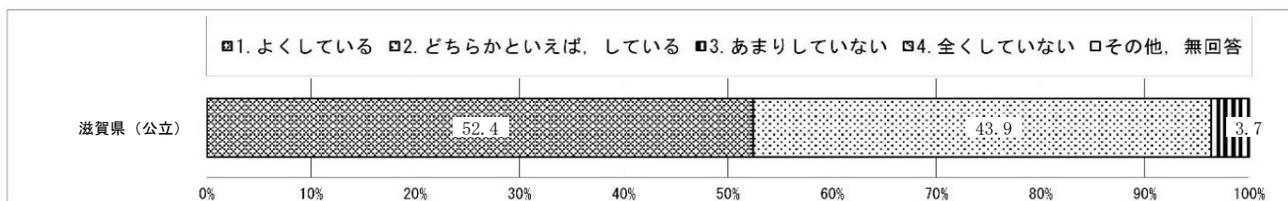


(平成31年度)

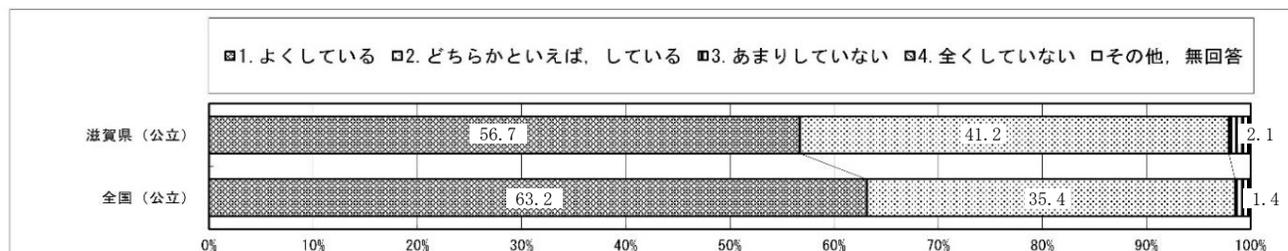


【中学校】

(令和2年度)



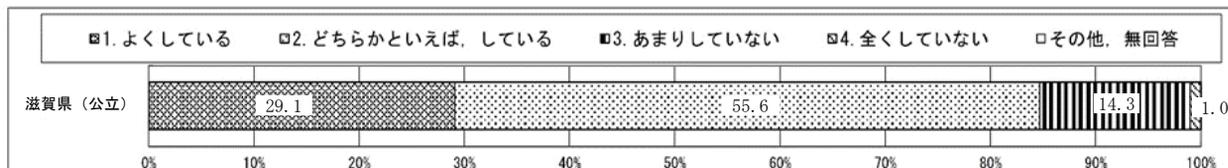
(平成31年度)



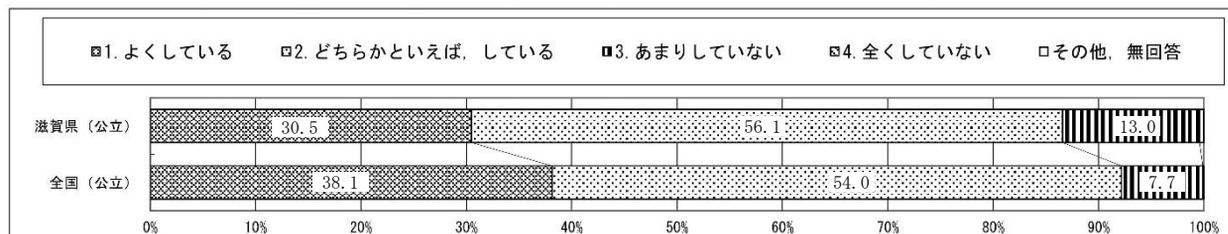
(24) 学校全体の言語活動の実施状況や課題について、全教職員の間で話し合ったり、検討したりしている

【小学校】

(令和2年度)

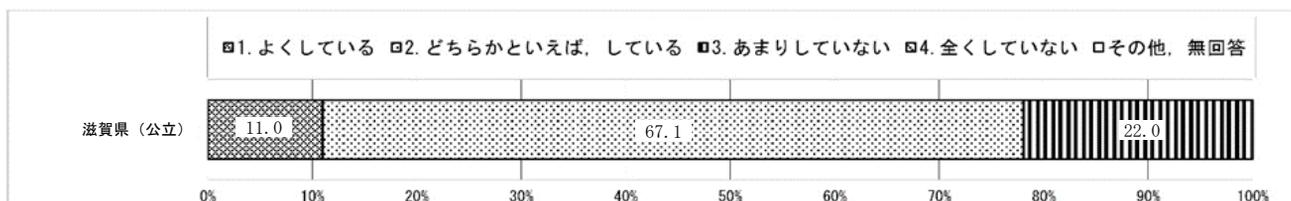


(平成31年度)

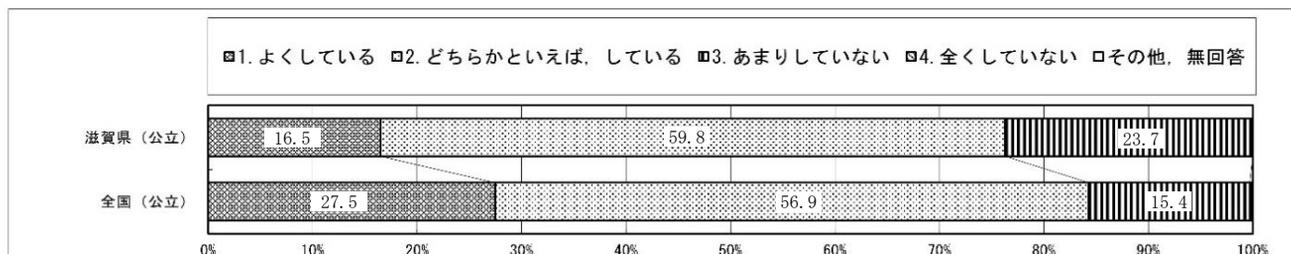


【中学校】

(令和2年度)



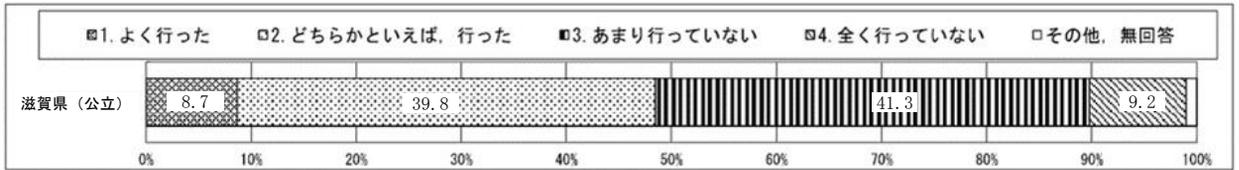
(平成31年度)



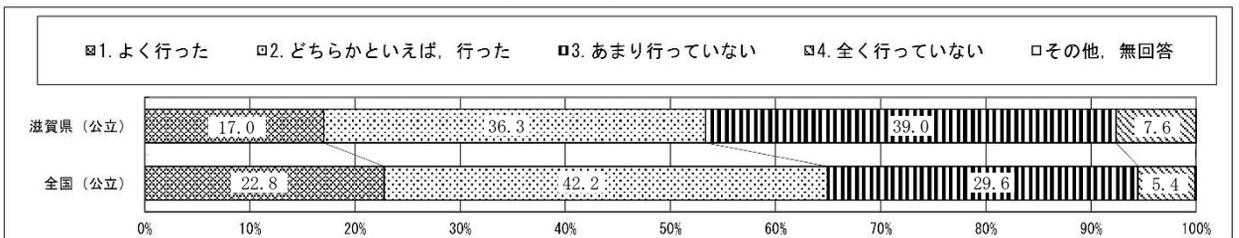
(62) 前年度までに、近隣等の中〔小〕学校と、教科の教育課程の接続や、教科に関する共通の目標設定など、教育課程に関する共通の取組を行った

【小学校】

(令和2年度)

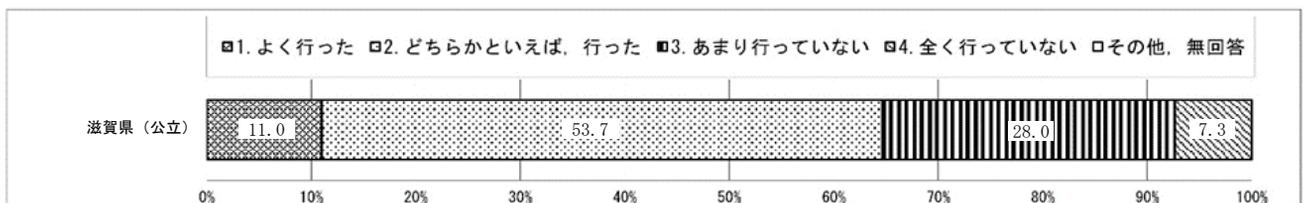


(平成31年度)

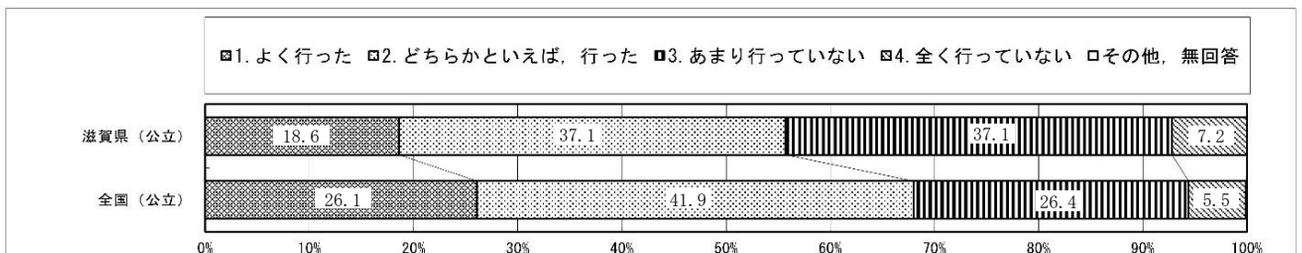


【中学校】

(令和2年度)



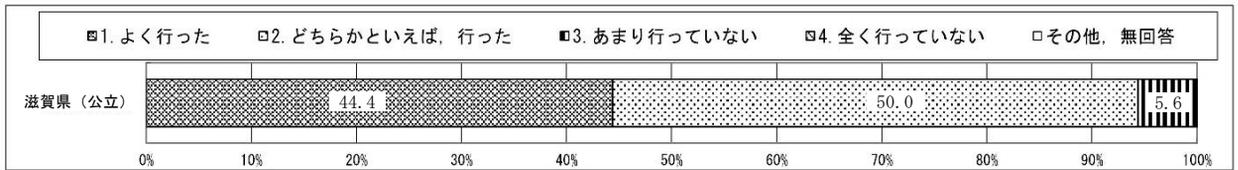
(平成31年度)



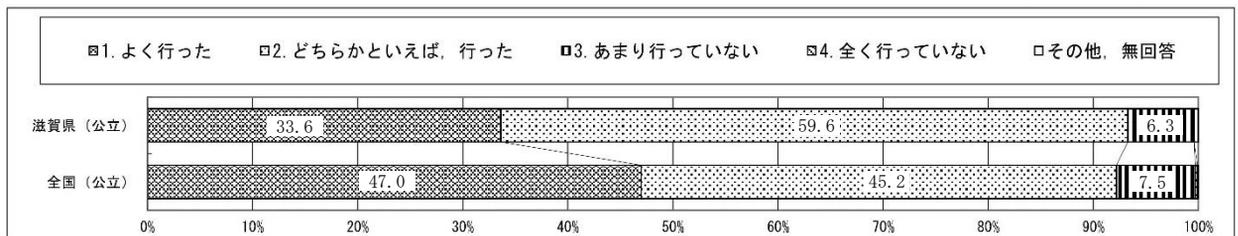
(70) 調査対象学年の児童〔生徒〕に対して、前年度までに、家庭学習の課題の与え方について、校内の教職員で共通理解を図る【教科共通】

【小学校】

(令和2年度)

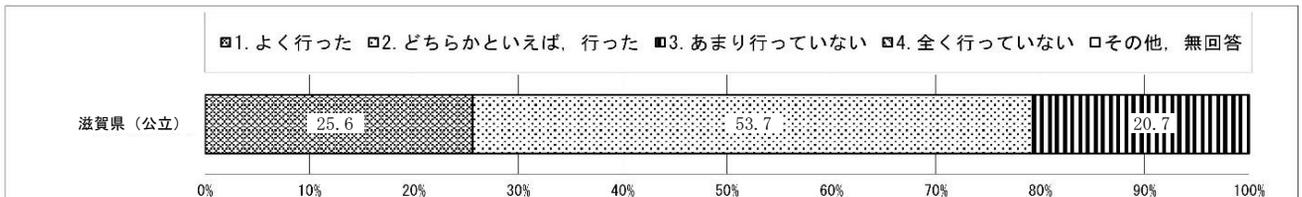


(平成31年度)

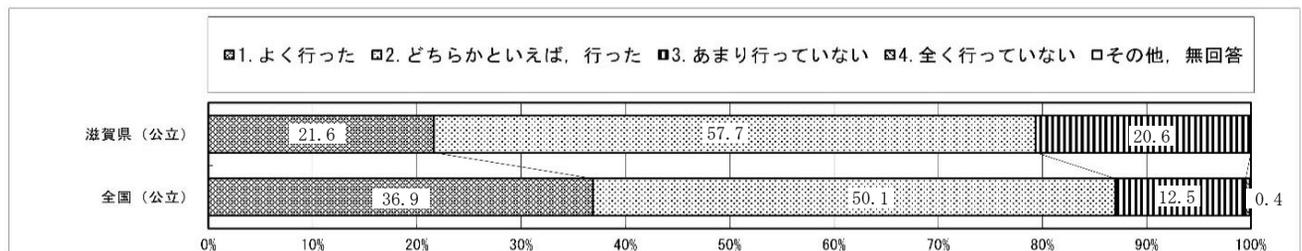


【中学校】

(令和2年度)



(平成31年度)

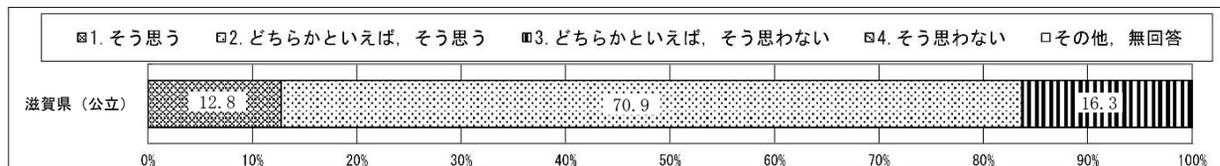


2 主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に関する質問項目

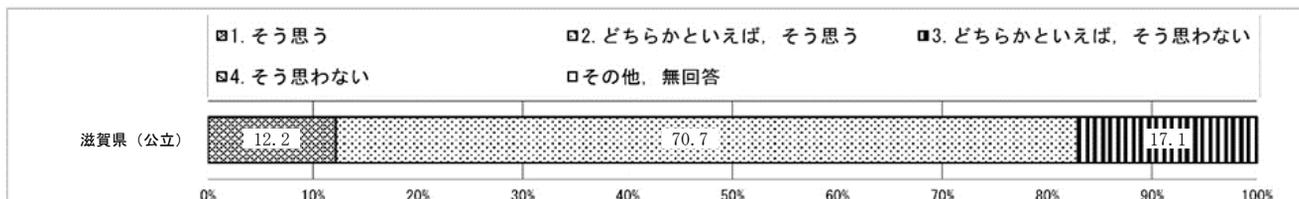
※令和2年度の集計結果

(26) 調査対象学年の児童〔生徒〕は、授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組むことができている

【小学校】

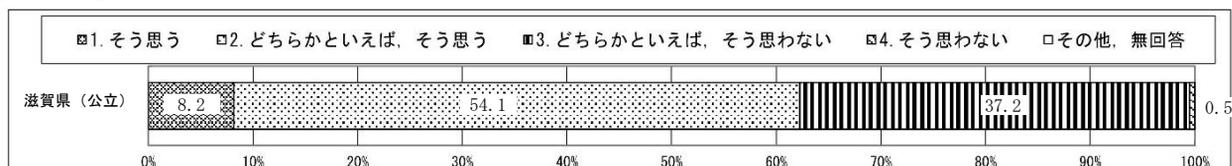


【中学校】



(27) 調査対象学年の児童〔生徒〕は、授業において、自らの考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して、発言や発表を行うことができている

【小学校】

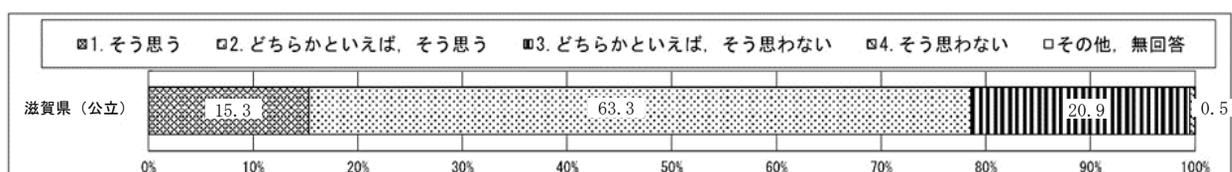


【中学校】

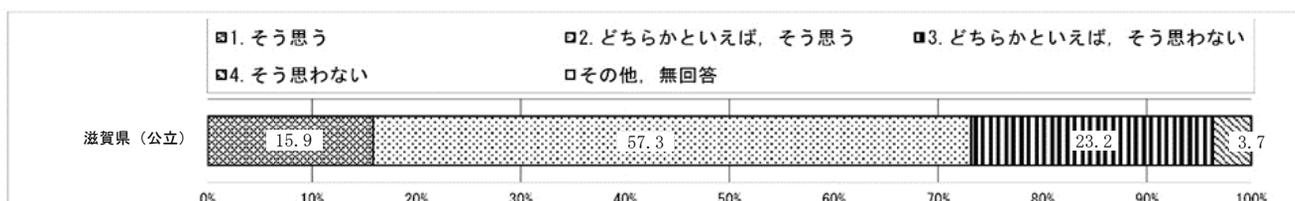


(28) 調査対象学年の児童〔生徒〕は、学級やグループでの話し合いなどの活動で、自分の考えを相手にしっかりと伝えることができている

【小学校】

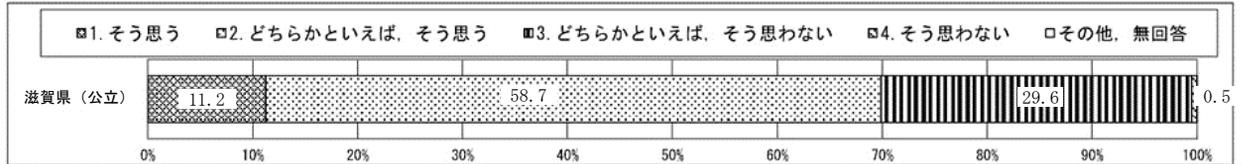


【中学校】

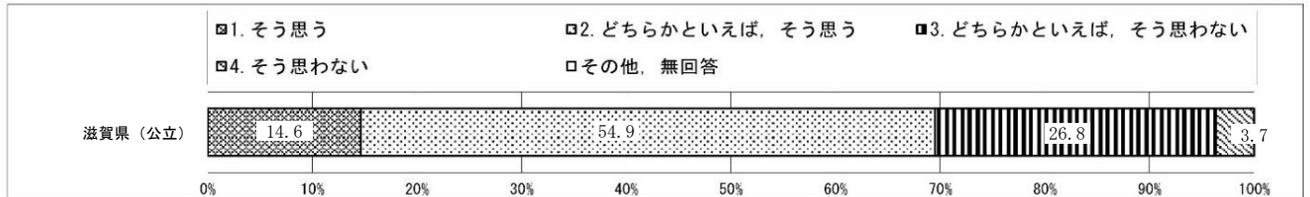


(29) 調査対象学年の児童〔生徒〕は、学級やグループでの話し合いなどの活動で、自分の考えを深めたり、広げたりすることができる

【小学校】



【中学校】

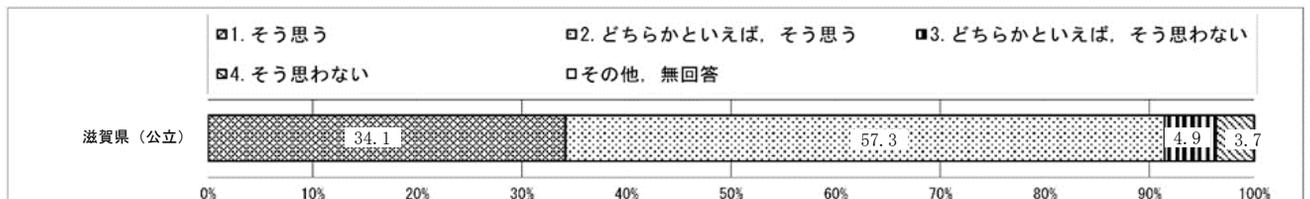


(30) 調査対象学年の児童〔生徒〕は、学級やグループでの話し合いなどの活動で、相手の考えを最後まで聞くことができる

【小学校】



【中学校】

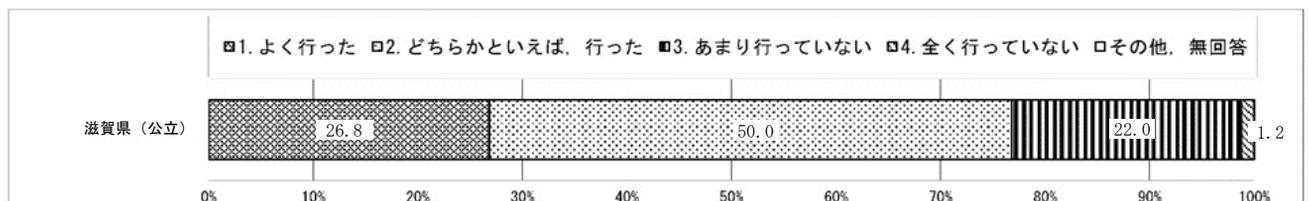


(31) 調査対象学年の児童〔生徒〕に対して、前年度までに、授業において、児童〔生徒〕自ら学級やグループで課題を設定し、その解決に向けて話し合い、まとめ、表現するなどの学習活動を取り入れた

【小学校】

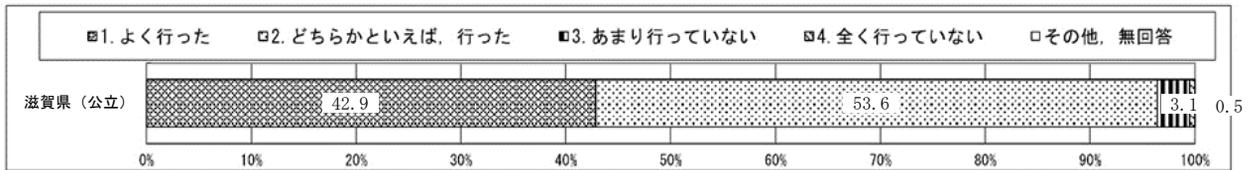


【中学校】

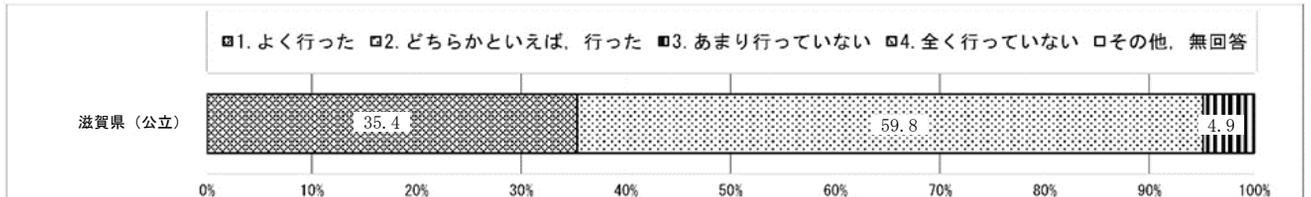


(32) 調査対象学年の児童〔生徒〕に対して、前年度までに、発言や活動の時間を確保して授業を進めた

【小学校】

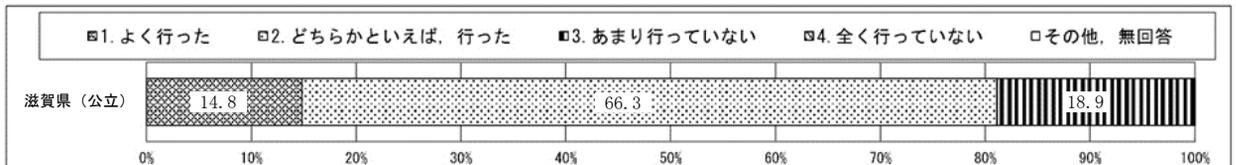


【中学校】

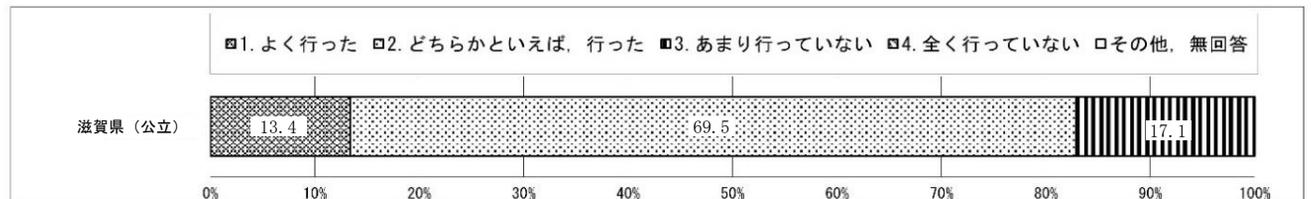


(33) 調査対象学年の児童〔生徒〕に対して、前年度までに、習得・活用及び探究の学習過程を見通した指導方法の改善及び工夫をした

【小学校】

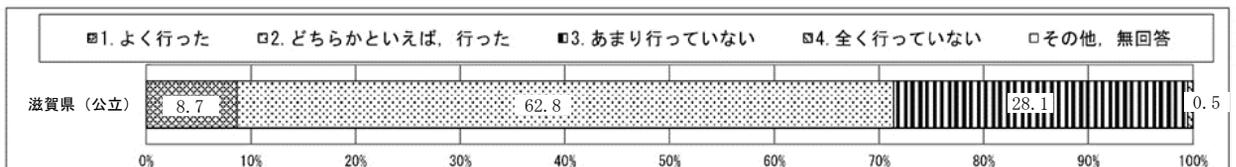


【中学校】

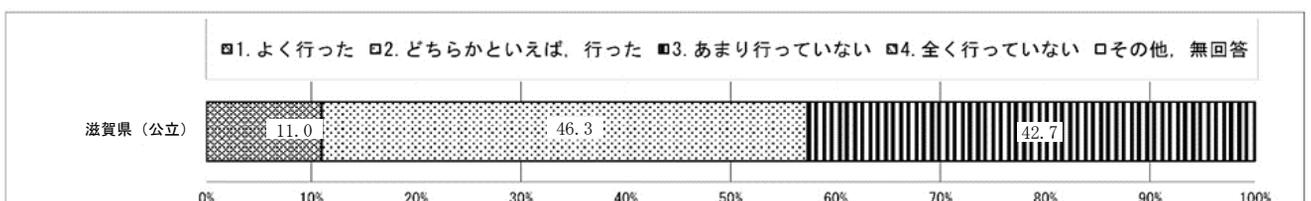


(34) 調査対象学年の児童〔生徒〕に対して、前年度までに、各教科等で身に付けたことを、様々な課題の解決に生かすことができるような機会を設けた

【小学校】

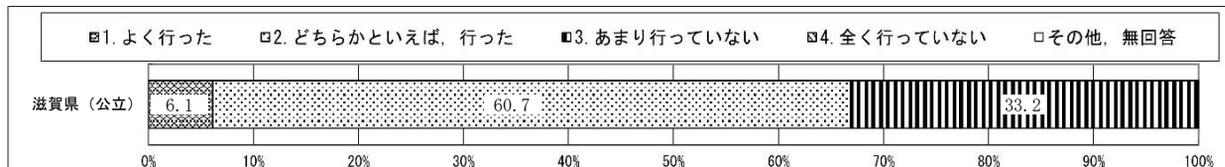


【中学校】

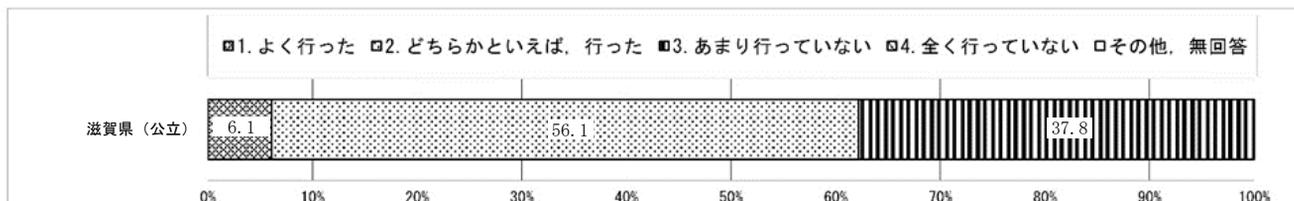


(35) 調査対象学年の児童〔生徒〕に対して、前年度までに、知識を相互に関連付けてより深く理解したり、情報を精査して考えを形成したり、問題を見いだして解決策を考えたり、思いや考えを基に創造したりすることに向かう過程を重視した学習を、計画的に取り入れた

【小学校】

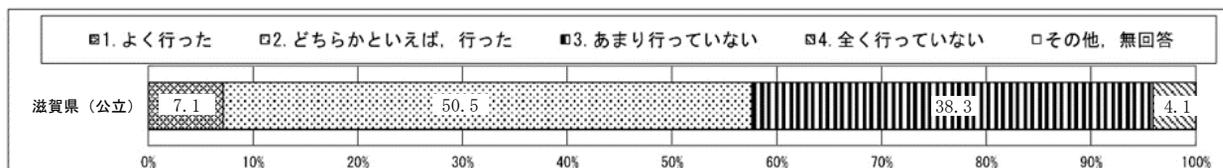


【中学校】

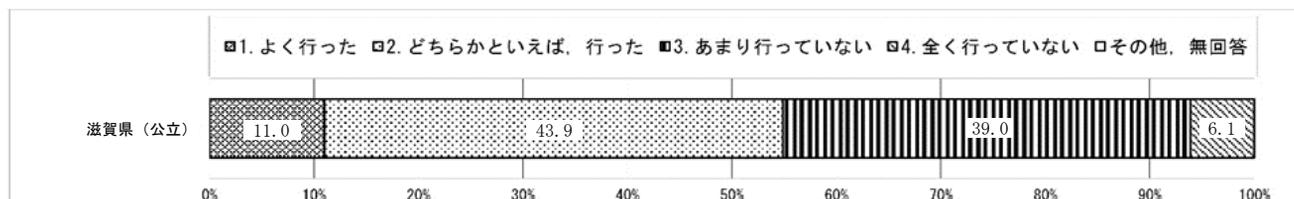


(36) 調査対象学年の児童〔生徒〕に対して、前年度までに、総合的な学習の時間や各教科等の授業などで、調べたことや考えたことを800字〔1,200字〕（400字詰め原稿用紙2枚〔3枚〕）程度で児童〔生徒〕にまとめさせたことがあった

【小学校】

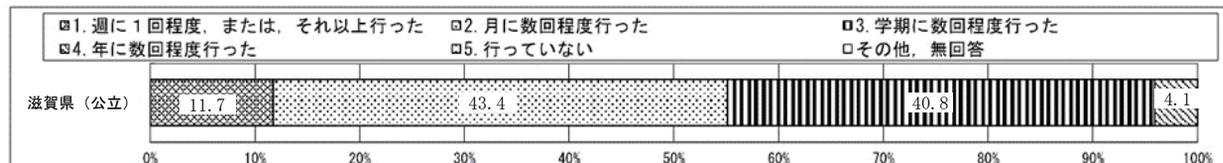


【中学校】

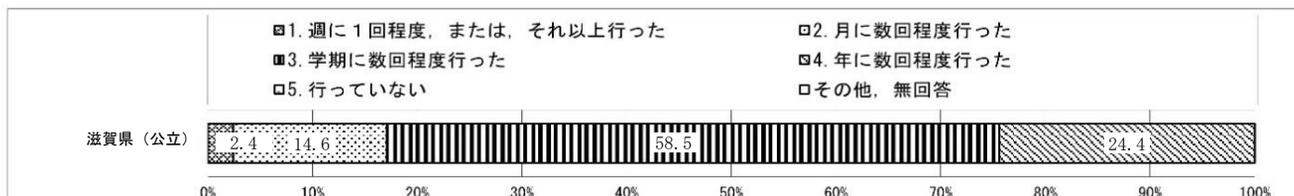


(37) 調査対象学年の児童〔生徒〕に対して、前年度に、本やインターネット、図書館資料などを活用した授業を計画的に行いましたか。

【小学校】



【中学校】



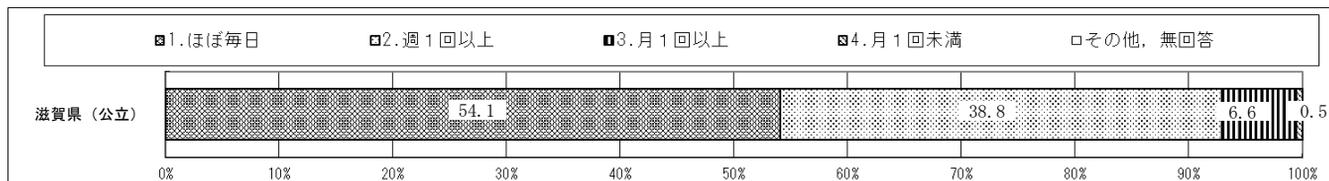
### ③ ICT活用に関する質問項目（教員）

※令和2年度および平成31年度の集計結果を掲載

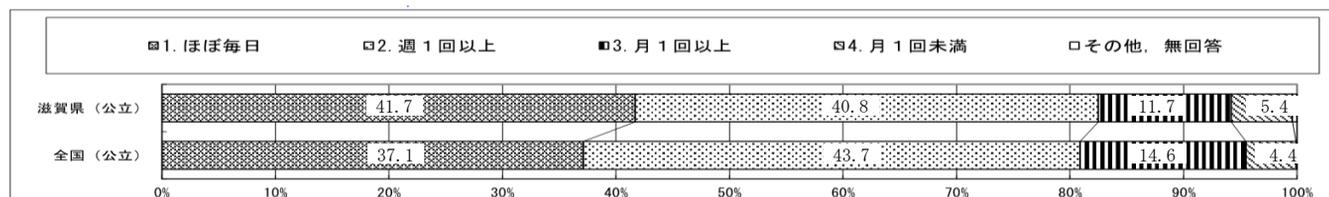
(59) 調査対象学年の児童（生徒）に対して，前年度に，教員が，1クラス当たり，大型提示装置（プロジェクター，電子黒板など）などのICT機器を活用した授業をどの程度行いましたか。

#### 【小学校】

（令和2年度）

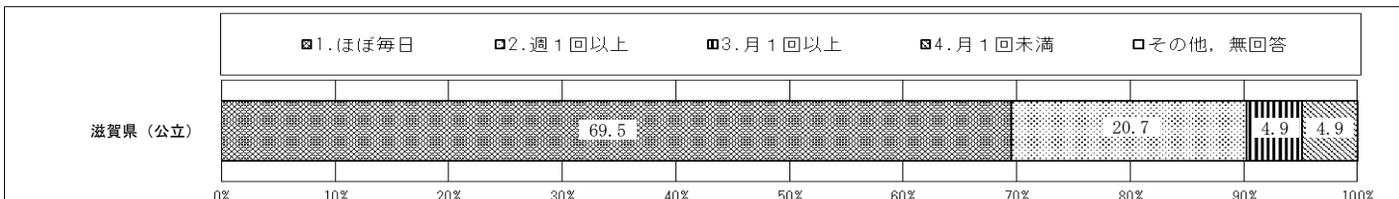


（平成31年度）

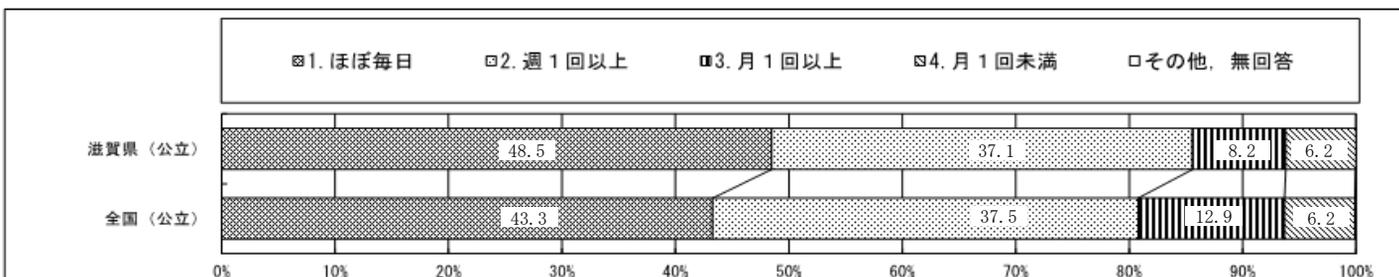


#### 【中学校】

（令和2年度）



（平成31年度）



## 令和2年度 全国学力・学習状況調査の質問紙を活用した県調査の結果について

令和2年10月  
滋賀県教育委員会事務局幼小中教育課

県では、全国学力・学習状況調査の質問紙を活用し、長期化した休業期間が児童生徒の生活や学習にどのような影響を与えたのか、その状況を把握することを目的の一つとして調査を今年度実施しました。本冊子で取り上げた主な質問項目は、「第Ⅱ期 学ぶ力向上滋賀プラン」の指標等であり、県の課題とされた項目です。昨年度までとは状況が異なりますが、以下のような改善がみられました。

### 【改善例】

項目(12)「先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思う」

強い肯定【小学校38.2% (昨年度から0.5ポイント増加)】【中学校34.3% (9.1ポイント増加)】

項目(12)については、休業期間中、児童生徒の顔が見えないもどかしさや心配があるなか、各学校で最善が尽くされ、再開後も児童生徒一人ひとりの学びや成長を温かく支えてくださった教職員の皆さんの取組の成果であると考えています。

項目(37)「学級の友達と〔生徒〕の間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思う」

強い肯定【小学校30.9% (昨年度から2.6ポイント増加)】【中学校36.4% (11.3ポイント増加)】

項目(37)についても、新型コロナウイルス感染症拡大の防止に努めながら、教職員の皆さんが工夫し、「対話的な学び」の視点から授業改善を進めてくださった結果と考えています。多くの先生方が、困難な状況においても、学びの質に着目し、日々の授業について、丁寧に取り組んでいただいていることが分かります。

一方、県調査の結果から以下のような課題もみられました。

### 【課題例】

項目(13)「将来の夢や目標を持っている」

強い肯定【小学校55.3% (昨年度から7.9ポイント減少)】【中学校38.4% (0.8ポイント減少)】

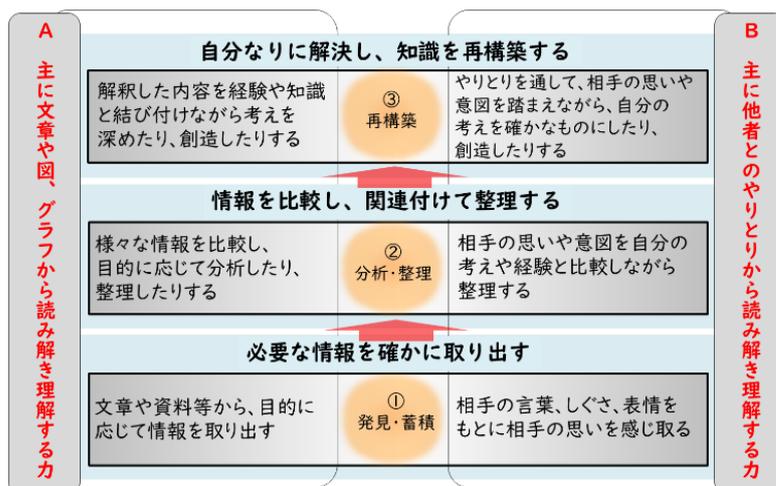
項目(13)については、全国各地で新型コロナウイルスの感染者が確認され、警戒すべき状態が続く中、児童生徒が自分たちの生活や将来について不安を感じたことが考えられます。教科の学習指導等と結び付けたキャリア教育を推進し、児童生徒一人ひとりのよさを価値付けていただきますようお願いします。

項目(1)「朝食を毎日食べている」

強い肯定【小学校86.3% (昨年度から2.7ポイント減少)】【中学校81.2% (2.7ポイント減少)】

項目(1)については、長期化した休業期間により、基本的な生活習慣が多少なりとも乱れてしまった児童生徒がいることが考えられます。「早寝、早起き、朝ごはん」などの基本的な生活習慣が定着するようにより一層取り組んでいただきますようお願いします。

さて、今年度は学習指導要領の全面実施（小学校）の年です（中学校は来年度から）。昨年度から県では、「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善の実現に向けて、「読み解く力」の視点を踏まえた授業づくりに取り組んでいます。今年度は、県内の先生方が1年に1回は「読み解く力」を意識した授業をする「実践の年」と考えています。後半の授業においても、子どもの学びが充実するよう共に取組を進めてまいりましょう。



「読み解く力」イメージ図

なお、本冊子で取り上げた質問項目以外の結果につきましては、各市町の教育委員会に送付しております。各学校の子どもたちの成長や課題に着目しながら、これからの指導の参考にしていただきますようお願いします。

活用ください～子ども一人ひとりの学びを見取り、確かな学力を育むために～

○「学びの基礎チャレンジ」県独自の評価問題（10月末配付予定）

○「ガッテンプリント」基礎的・基本的な学力定着のための補充学習プリント

- 「ガッテンプリント」は県総合教育センターの web ページ（トップページのバーナー）よりダウンロードできます。

○ 全国学力・学習状況調査問題

学習指導要領に示された理念を具現化した評価問題です。

- 今年度の全国学力・学習状況調査に関する「授業アイデア例」が国立教育政策研究所より送付されます。対象学年以外の授業でも活用できます。  
今年度の問題については、10月下旬に国立教育政策研究所の web ページより、ダウンロードできます。
- 過去の全国学力・学習状況調査の問題は国立教育政策研究所の web ページより、ダウンロードできます。